

令和7年度

学力向上モデル校事業

学力向上に向けて先導的に研究に取り組む学校をモデル校として指定し、各モデル校の研究を診断的、総括的に評価・検証し、その研究成果の普及を図ることで、学校の教育力を高め、児童生徒の確かな学力の向上に資する。

モデル校の役割

学校課題の解決

- ・学習状況調査結果
- ・児童生徒、教員、保護者対象のアンケート調査

学校の特色を生かした研究

- ・研究推進体制の工夫
- ・校内研修の活性化
- ・研究の継続

実践事例の蓄積

- ・授業の公開
- ・多面的な取組
- ・「さぬきの授業 基礎・基本」の実践

研究の診断的、総括的な評価・検証

- ・推進会議
- ・「研究成果の参考とする10の指標」
- ・指導主事、香川大学教員の訪問

研究成果の普及

- ・ホームページ掲載
- ・香川の教育づくり発表会、その他の発表会での発信

県内の小・中学校の児童生徒の学力向上、教員の指導力向上

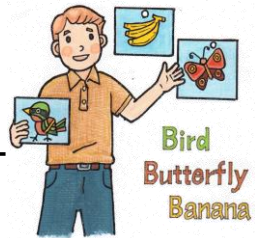
★「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現推進モデル校事業

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現に向けた授業づくり
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」に向けたICTの積極的活用



★外国語教育推進モデル校事業

- ・言語活動の充実に向けた学習環境整備と活用方法の工夫
- ・主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童生徒の育成を目指す指導の在り方の工夫



★「読解力」向上推進モデル校事業

- ・課題解決の中で、様々なテキストを理解、利用、熟考する力の育成
- ・各教科、総合的な学習の時間等、教科の枠をこえた取組みの推進

